

心豊かに 元気よく 主体的に学ぶ子の育成
～元気なあいさつ 笑顔いっぱい みんなかがやく 志染っ子～

実り多い2学期を目指して

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。朝の登校指導では、「校長先生、おはようございます」と気持ちのよいあいさつをしてくれる子どもたちの姿に出会い、2学期のスタートを実感しています。



この夏は、自然災害の恐ろしさを改めて感じる夏となりました。7月に発生した「令和8年熊本地震」では大きな被害が生じ、多くの方々が不安な日々を過ごされています。また、関東地方や北陸地方では、線状降水帯の発生等に伴う記録的な大雨により、浸水や土砂災害など深刻な被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。私たちも、いつ起こるか分からない災害に備え、命を守る行動や防災意識の大切さについて改めて考えていかなければなりません。

さて、2学期は一年の中で最も長く、子どもたちが大きく成長する学期です。自然学校や修学旅行、マラソン大会など、多くの行事が予定されています。さらに今年、本校は創立150周年という大きな節目を迎えます。11月28日に予定している記念事業に向けて、実行委員の皆様を中心に準備を進めていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本校では、こうした行事や日々の学習を通して、子どもたち一人一人が目標をもち、その達成に向けて努力することを大切にしていきます。目標に向かって挑戦し、仲間と協力しながら困難を乗り越える経験は、子どもたちを大きく成長させます。

教育において、点数や結果として目に見える成長はほんの一部です。私たちが本当に大切にしたいのは、目には見えにくい心の成長です。子どもを育てることは樹木を育てることによく例えられます。美しい花を咲かせるためには、花や葉だけでなく、見えないところで根をしっかりと育てなければなりません。根が丈夫であれば樹木は力強く育ち、やがて立派な花や実をつけます。私たちは、子どもたちの「主体性」「協働性」「創造力」といった『根』を養いたいと考えています。



教職員一同、一人一人の成長を温かく見守りながら、実りの秋にふさわしい充実した2学期となるよう努めてまいります。今学期も保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 田邊 久嗣